

運動部活動のパワーハラスメント認知尺度の開発

順天堂大学  
スポーツ健康科学研究科  
学籍番号：4118034  
氏名：堀本 菜美

【目的】

本研究では、運動部活動のパワーハラスメント認知尺度を開発することを目的とした。具体的には研究Ⅰで尺度の原版を作成し、研究Ⅱで尺度の信頼性・妥当性、個人属性を検討した。

【方法】

研究Ⅰでは、運動部所属経験のある大学生 30 名を対象にインタビュー調査を行ない「指導者に対して嫌がらせをされたと感じた経験」を学校期別に尋ねた。その後、KJ 法を用いてカテゴリー化、尺度の原版作成を行なった。研究Ⅱでは、運動部所属経験のある大学生 465 名（男性 264 名、女性 198 名、無回答 3 名、平均年齢  $19.3 \pm 3.7$  歳）を対象に質問紙調査を実施した。妥当性と信頼性を検討し、個人属性との関連を検討した。

【結果】

研究Ⅰの結果、「指導者からの暴力」「指導者からの偏向的指導」「指導者からの非合理的指導」の 3 つのパワーハラスメント認知カテゴリーが作成され、45 項目の質問項目の原版が作成された。研究Ⅱの結果、「暴力」「軽蔑」「独裁」「指導放棄」の 4 因子 4 項目の計 16 項目が抽出された。本尺度の妥当性と信頼性は概ね確保され有用な尺度が作成された。個人属性との関連も確認され、中学・高校の方が大学よりも、「暴力」が有意に高く、大学の方が中学・高校よりも「独裁」が有意に高かった。また、集団種目の方が個人種目よりも「軽蔑」「指導放棄」において有意に高かった。

【結論】

運動部活動のパワーハラスメント認知尺度が開発され、本尺度の信頼性と妥当性が概ね示された。